

日 時 : 平成8年5月24日(金) 13:00より

場 所 : 技術士センタービル会議室

平成8年度の本会の総会は平成8年5月24日(金) 13時より、技術士センタービル会議室において開催された。

開会に先立って石橋幹事長により、出席者が46名であり、総会成立の確認が報告された後、春の叙勲で勲二等瑞宝章を受賞された茅原一也新大名誉教授の紹介され引き続き議長に指名され、次の次第に従って議事が進められた。

次 第

- (議事) 1. 平成7年度事業報告
- 2. 平成7年度決算報告
- 3. 平成7年度会計監査報告
- (議案) 1. 平成8年度会の運営方針(案)について
- 2. 平成8年度事業計画(案)ならびに予算(案)について
- 3. 会則の変更(案)について
- 4. 平成8年度役員(案)について

以上の議案の各々について、報告、提案および説明があった後、決議がおこなわれ、滞りなく総会を終了した。

その後例会に移り、ボーリング用泥水の添加材について(株)川口エース工業玉山幸治氏、藻類の有効利用(財)新潟県環境衛生研究所坂井正氏、簡易空中写真撮影と周辺技術(株)ミネヤ科学徳吉三樹氏、岩石崩壊とその対策事例(株)キタック伊藤哲雄氏、〔特別講演〕環境・災害問題と地質学 新潟大学積雪地域災害研究センター高浜信行氏からOHP、スライドによる講演が行われた。

全ての予定を終了した後、別室にて懇親会がもたれ、34名の参加があり和やかな歓談の場となった。

平成 8 年 度 新潟応用地質研究会総会

日 時：平成 8年 5月 24日（金）

場 所：技術士センタービル 新潟市新光町10番2

TEL 281-1114

総 会（13：00～13：30）

- 総 会 次 第
1. 開 会
 2. 会 長 挨拶
 3. 議 長 選 出
 4. 報 告 承 認
 - (1) 平成7年度事業報告
 - (2) 平成7年度決算報告
 - (3) 平成7年度会計監査報告
 5. 議 事
 - (1) 平成8年度の運営方針（案）について
 - (2) 平成8年度事業計画（案）ならびに予算（案）について
 - (3) 会則変更（案）について
 - (4) 平成8年度役員（案）について
 6. 閉 会

例 会（13：30～17：00）

* ~~~~~ *		
∩	【研究発表】	∩
∩	① ボーリング用泥水の添加材について	(株)川口エース工業 玉山 幸治
∩	② 藻類の有効利用	(財)新潟県環境衛生研究所 坂井 正
∩	————— 休 憩 —————	
∩	③ 簡易空中写真撮影と周辺技術	(株)ミネヤ科学 徳吉 三樹
∩	④ 岩石崩壊とその対策事例	(株)キタック 伊藤 哲雄
∩	【特別講演】	∩
∩	環境・災害問題と地質学	新潟大学積雪地域災害研究センター 高浜 信行
∩		∩
* ~~~~~ *		

平成7年度事業報告

平成7年4月1日～平成8年3月31日

開催年月日 会場	名 称 内 容	参加数
H7.5.1 地質会館	第63回幹事会・総会、例会について 会誌44号の内容 ・平成6年度決算報告、7年度予算案、役員の変更等	11名
H7.5.13 地質会館	第64回幹事会・例会の内容・会誌巻頭言、会員名簿	14名
H7.6.21 地質会館	第65回幹事会・アンケートの集約 ・例会について(特別講演、研究発表、会誌の編集)	11名
H7.7.17 地質会館	第66回幹事会・アンケートの集約結果 ・評議員会 ・会誌 …… 原稿巻頭言 ・例会時間割り ・懇親会	8名
H7.7.28 地質会館	評議員会 ・平成6年度決算、平成7年度予算 ・活動方針	6名
H7.7.28 地質会館	総会 ・平成6年度決算、平成7年度予算 ・活動方針 春季例会 「地震と応用地質分野のかかわり」 (阪神淡路大震災レポート) (株)キタック 山田 惣一郎 (株)興和 本間 浩 幸 (株)日さく 大高 健 策 (株)新協地質 川島 隆 義 [アンケート結果について] サココンサウト(株) 田村 伸 夫 [新技術紹介] 柱RC・梁Sの混合構造NEOS工法による新オフィスビル 鹿島建設(株)北陸支店 田淵 順 [特別講演] 地震のメカニズムと新潟県北部地震 新潟大学積雪地域災害研究センター 大木 靖衛	58名
H7.10.16 地質会館	第67回幹事会 ・見学会について ・秋季例会について	9名
H7.11.10	現地見学会 ・奥三面ダム・発掘遺跡の見学 (日本技術士会共催)	23名
H7.12.15 技術士ビル	秋季例会 ・田代七ツ釜の崩壊 (株)興和 只野 信行 ・7.11水害と砂防施設 新潟県土木部 野沢英之助 [特別講演]・応用地質と私 新潟大学積雪地域災害研究センター 青木 滋	64名
H8.2.20 地質会館	第68回幹事会 ・平成7年度の反省、平成8年の方針	名
H8.4.19 地質会館	第69回幹事会 ・7年決算、8年予算、活動方針、会場の手配、その他	9名
H8.5.24 技術士会館	第70回幹事会 ・評議員会・総会例会準備、役割分担、その他	名

報告承認(2)

平成7年度決算報告

(収入の部)

平成7年4月1日～平成8年3月31日(単位円)

科目	予算額	収入済額	増減	備考
正会員費	662,000	481,500	-180,500	一部 前年度会費納入者含む
賛助会員費	650,000	630,000	- 20,000	29社×2口,1社×5口
雑収入	8,887	9,761	874	銀行利息, 雑誌販売 ほか
繰越金	339,113	339,113	0	
合計	1,660,000	1,460,374	199,626	

(支出の部)

科目	予算額	支出額	増減	備考
印刷費	1,100,000	745,376	354,624	会誌44,45号, 印刷 ほか
運営費	410,000	116,350	293,650	講師旅費謝礼, 会場費, 見学会補助, その他
通信費	100,000	72,510	27,490	会誌郵送, 雑誌, 切手
人件費	30,000	9,000	21,000	会誌郵送, 各案内郵送アルバイト代
雑費	10,000	4,102	5,898	文房具, 例会用お茶, 郵便振込手数料
合計	1,650,000	947,338	702,662	

(収支)

1,460,374 - 947,338 = 513,036 円平成8年度へ繰越

報告承認(3)

平成7年度監査報告

平成7年度会計監査を実施しました結果, 諸帳簿, 諸証券の記帳, 保管ならびに予算の執行が明確かつ適正であったことを認めます。

平成8年5月 10日
 会計監査委員 小林 巖雄
 岩永 伸

議案（1）

平成8年度新潟応用地質研究会の運営方針（案）について

平成7年は年初から阪神淡路大震災、また、本県では年度始めの県北部地震、さらに7、8月に上越地方を襲った豪雨による甚大な被害、平成8年には平年に近い降雪量や低温続きの遅い春のおとづれなど、近年の異常気象は恒常化した感があります。

平成8年度の会の運営方針は、ますます多様化する災害、環境に焦点を当てていきたい。

なお、具体的な展開としては下記の通りである。

記

1 会員相互の交流、親睦とあわせ新知見の拡大を促す

年2回の例会、見学会の開催、年2回の会誌の刊行

2 新しい時代潮流、新技術に的確に対応するため、関連分野を初め異業種、異分野との積極的な交流、連携、情報交換等を図る

講演会、現地研修会の関連団体との共催、並びに交流の促進、会誌の相互交換など

3 自主的な会員グループによる共同研究、調査への支援環境の整備を図る

共同研究、調査等への助成

議案(2)

平成8年度事業計画

1) 事業計画(案)

- | | | |
|----------|-----------|----|
| ① 総会 | | 1回 |
| ② 例会の開催 | (春, 秋) | 2回 |
| ③ 会誌の発行 | (46, 47号) | 2回 |
| ④ 見学会の開催 | | 1回 |
| ⑤ グループ研究 | | |

2) 予算(案)

(収入の部)

平成8年4月1日～平成9年3月31日 (単位円)

科目	予算額	内 訳
正会員費	640,000	320名×2,000円 現在会員数320名
賛助会員費	650,000	30社×2口, 1社×5口 現在 31社
雑収入	6,964	銀行利息, その他
繰越金	513,036	
合計	1,810,000	

(支出の部)

科目	予算額	内 訳
印刷費	1,100,000	会誌, 見学会資料, 例会案内はがき, 等印刷
運営費	480,000	講師旅費謝礼, 会場料, 研究補助, 懇親会補助, 評議, 幹事会費
通信費	150,000	会誌発送, はがき, 切手
人件費	54,000	アルバイト料6000×3名×3回
雑費	26,000	事務用品, その他
合計	1,810,000	

応用地質研究会備品目録

- | | | | |
|------------|----------|-----------|-------------------|
| ・スクリーンスタンド | 55,000円 | H.1. 6.20 | |
| ・スライド映写機 | 113,712円 | H.1.12.11 | (地すべり学会新潟支部と共同購入) |
| ・ハンドマイク | 19,770円 | H.2. 9.14 | |
| ・軽量棚 | 27,501円 | H.3. 3.29 | |
| ・差し棒 | 7,500円 | H.3. 6.18 | |

新潟応用地質研究会会則変更(案)

- 1 名称: 本会は新潟応用地質研究会という。
- 2 目的: 本会は応用地質を主とする地球科学に関する研究の推進、技術の向上、普及を図ると共に、会員相互の親睦、関連分野との交流により地域社会の発展に寄与することを目的とする。
- 3 事業: 本会は、その目的を達成するために、次の事業をおこなう
 - (1) 会誌、その他の出版物の刊行
 - (2) 例会(講演会、研究発表会、技術講習会、見学会)等の開催
 - (3) 共同研究、調査の実施
 - (4) 関係資料の収集
 - (5) その他必要と認められる事項
- 4 会員: 本会は次の会員で構成される。
 - (1) 正会員: 本会の目的に賛同し入会を承認された者
 - (2) 賛助会員: 本会の目的に賛成し入会を承認された、団体または機関
 - (3) 名誉会員: 本会の発展に功労のあった正会員で、役員会の推薦により総会の議決を経た者
- 5 入会: 本会に入会を希望する者は、所定の入会申込書を本会事務局に提出し、幹事会の承認を得るものとする。
- 6 会費: 会員は、下記の会費を前納しなければならない。
 - (1) 正会員: 年額 2,000 円
 - (2) 賛助会員: 年額 1口10,000円で2口以上
- 7 会員の権利: 本会で行う各種事業への参加、刊行物の配布、保管資料の利用、会の運営への意見、提言等を行うことができる。
- 8 役員: 本会には正会員の中から評議員の推薦を経て総会の議決をもって次の役員を置くものとする。なお、任期は2年とし、再任をさまたげない。
 - (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 2名
 - (3) 評議員 若干名
 - (4) 幹事 若干名
 - (5) 監査役 2名
- 9 運営: 本会はつぎの機関で運営する。
 - (1) 総会: 正会員で組織し、本運営の最高決議機関として会長が招集により年1回開催し、本会運営の基本方針を決定する。総会の成立は委任状を含め正会員の10分の1以上の出席、議決は、出席者の過半数を要し、可決同数のときは議長が決定する。
 - (2) 役員会: 会長、副会長、幹事長、副幹事長で構成し、会長の招集により開催、会の運営方針を審議する。
 - (3) 評議員会: 評議員で構成し、会長の招集により開催、会長の諮問事項を審議する。
 - (4) 幹事会: 幹事で構成し、幹事長の招集により開催、総会の決定方針に従い会の運営にあたる。
- 10 会計
 - (1) 本会の会計年度は、毎年4月1日にはじまり、翌年3月31日に終わる。
 - (2) 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。
- 11 事務局: 本会の事務局は、新潟県地質会館内(新潟市鳥屋野4丁目7番22号)に置く。
- 12 その他: 本会則の変更、並びに会則に記載のない事項で重要な事項は、総会において定めるものとし、この会則以外に本会の運営に必要な事項は、幹事会で定める。

[附] この会則は平成8年5月24日から施行する。
平成元年6月30日改正
平成6年6月3日改正

議案（４）

平成８年度役員（案）

執行体制の強化として副幹事長３名制、環境部門の幹事の増を計る。

会 長 小川 正二 長岡工業高等専門学校

副 会 長 山岸 俊男 新潟県土木部道路建設課
副 会 長 米沢 富信 八千代エンジニアリング

評 議 員 青木 滋 新潟大学名誉教授
奥村 義郎 国際航業 新潟支店
熊谷 忍 (株)興和
須田 光治 (財)産業地質科学研究所
稲鳥 重雄 新潟大学農学部
中山 輝也 (株)キタック
布施 弘 新潟県企業局開発課

監 査 役 小林 巖雄 新潟大学理学部地質科学科
岩永 伸 (株)キタック

幹 事 長 石橋 輝樹 新潟県三面川開発事務所
副幹事長 (総括・行事) 川島 隆義 (株)新協地質
副幹事長 (編 集) 大谷 政敬 (株)キタック
副幹事長 (庶 務) 鈴木 幸治 新潟大学積雪地域災害研究センター

幹 事

(行 事)

◎柿崎 竹男 大手開発
○沼田 誠 ライト工業
石川 亨 日特建設
神田 章 県農地管理課
高島 清 村尾技建
栢森 宇一郎 旭調査設計

(編 集)

◎古川 昭夫 明治コンサルタント
○小嶋 謙一 国土防災
水谷 宣明 日さく
佐々木 正 県長岡土木
岡野 靖 応用地質
関谷 一義 県衛生公害研

(庶 務)

◎田村 伸夫 サッココンサルタント
○渡辺 秀生 興和
相田 毅 県新津土木
佐藤 成昭 県上越土木
高野 正樹 県新発田農地
坂井 正 環境衛生研